

MC's Pick Up

旬の話題・気になるニュースを毎月お届け! モデル・カース・ピックアップ



気が付けばいつでもそこにいた 工事現場の働きもの

photo:Yoshihiro-HATTORI(服部佳洋)

乗り物好きならば誰しも、工事現場ではたらくパワーシャベルやブルドーザーなどを飽きる事無く見続けていた少年時代の記憶を持っていることだろう。

ただ多くの子供達は、自分が見ているものがパワーシャベルやブルドーザーで、それがどのような仕事をしているのかはおおよそ分かっている、例えばそれがCAT D6KなのかD7Eなのか、はたまたコマツのD31かD51か、機種名まではなかなか言い当てられないのが普通。いや、これは別に子供ばかりでは無く、多くのオトナと同様。建設関係の仕事をしているとか、趣味的な興味があるというファン以外、建機の機種名や細かな仕様などには、なかなか思い至らないだろう。

もちろんオトナのホビーとしての建設機械であれば、「コマツのD31PLL-21はプレートの幅が

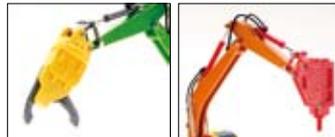
3455mmもあるのだが、輸送時にプレートと履帯を外せば車輪本体の幅は2980mmとなるので、一般的な3メートル幅のトレーラーに積載可能で、これはまるでタイガー1戦車が鉄道輸送時に幅の狭い履帯に履き替えて貨車に積載される作業を彷彿させ、非常に萌える」とかいう話にもなるのだろうが、これはごく一部の話。

と、いささか前ふりが長くなったが、ここで御紹介しているのは「働くクルマコレクション」のラインナップに加わったダイヤベットの新作、解体機と油圧ブレイカーである。製品名からもお分かりの通り、機種名を特定しない一般名詞的な建設機械のミニカーだ。いずれも建物の解体工事や道路工事などの現場で活躍する、お馴染みの機種である。スケールは1/52。ボディは360°回転し、アーム部分が可動するギミック



●DK-6115 解体機

●DK-6116 油圧ブレイカー



スケールは一般的な建設機械の標準スケールである1/50に比べ、やや小さめの1/52。カラフルなボディ・カラーは機種を特定しない「自由形」ゆえの楽しさ。逆に解体機のハサミ部分や油圧ブレイカーの先端部分はきちんと可動するなど、それぞれの機能まで生真面目に再現されている。価格はどちらも¥2,100(税込)とお手ごろ。

株式会社アガツマ
<http://www.wagatsuma.co.jp>

クは共通。子供に安心して与えられる堅牢な作りと手頃な価格は、ダイヤベットの例に漏れない。建機ミニカーの入門モデルとしてお子さまに最適。もちろんオトナにとっても、気軽に童心に戻れる癒しの媒体にもなってくれることでしょう。



はたらくクルマの事を
もっと知りたいアナタへ

一口に建設機械といってもその種類は多岐にわたる。本文でも御紹介したように今回取り上げたダイヤベットのモデルは、特定の機種を再現していないが、各メーカーの機種をより詳細に知る為にはこちら、そんな話題満載のムック「はたらくクルマ」。最新のVol.4はコベルコクレーンの大特集。全国書店で好評発売中。¥2,000(税込)

